

霞ヶ浦二橋建設に関する要望書

時下貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素より市町村事業の推進について、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成8年に設立した本同盟が推進する霞ヶ浦二橋は、霞ヶ浦の土浦入りと高浜入りの二つの入り江に橋を架け、北は茨城空港及び東関東自動車道（東関道）水戸線の茨城空港北ICを経て茨城港常陸那珂港区へ、南は首都圏中央連絡自動車道（圏央道）及び利根川に架かる若草大橋を経て幕張新都心までを繋ぐ、実に壮大な地域経済活動の向上を図る事業であります。

霞ヶ浦二橋につながる関連事業につきましては、県道のバイパス整備が着実に進められる中、圏央道の茨城県内4車線化の順次共用開始により、今後ますます交通の利便性向上に期待が寄せられるところです。

政府が表明した「令和の日本列島改造」による「地方創生 2.0」は、民間企業の本社機能移転や政府機関の地方移転を推し進める等、東京一極集中を打破し、多様性のある社会の実現に向けることとしており、より一層地方創生に係る取組の強化が期待されております。

このような背景において霞ヶ浦二橋が整備されることの意義は、交通の利便性向上に加え、地域振興や関係人口の拡大による地域経済の活性化、さらには緊急時における物資輸送や避難経路の確保など多岐にわたり、茨城県の発展に大いに寄与するものであると考えております。

つきましては、本同盟を構成する11市町村の長年の活動趣旨をご理解のうえ、下記事項について特段のご配慮を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1. 霞ヶ浦土浦入り並びに高浜入り架橋の早期具体化
2. 美浦栄線バイパス及び竜ヶ崎阿見線バイパスの整備促進
3. 千葉茨城道路及び百里飛行場連絡道路の整備促進